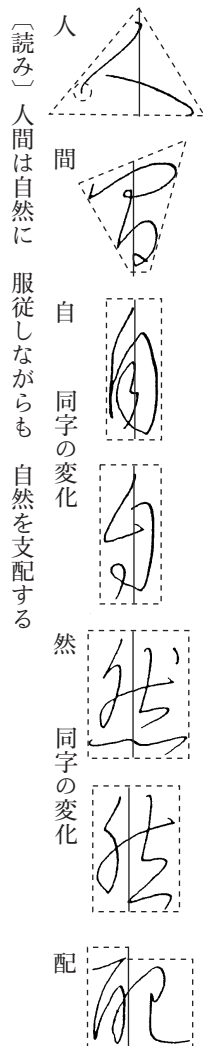


準初段から六段まで

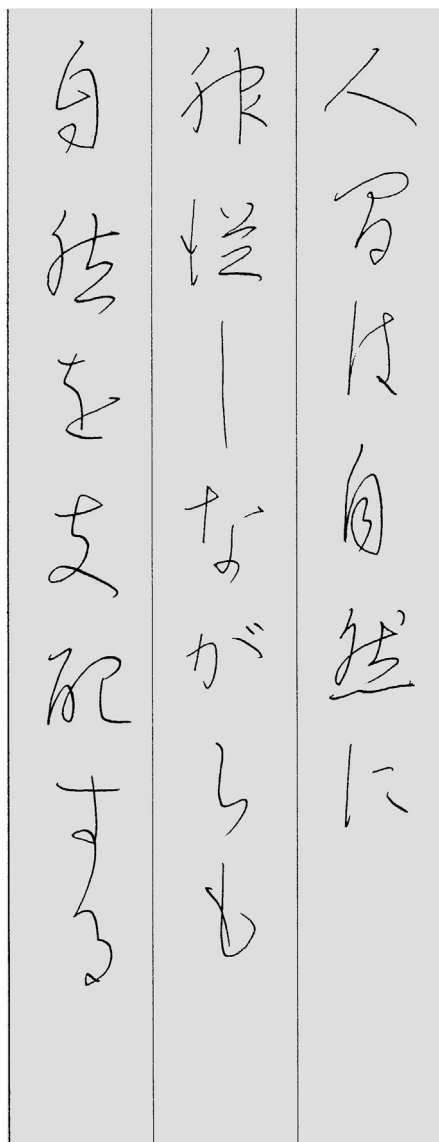
新入から1級まで

〔解説〕



草書のくずし方は古来の定形があり、定形以外にくずしたものは通用しない。定形を覚えることです。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

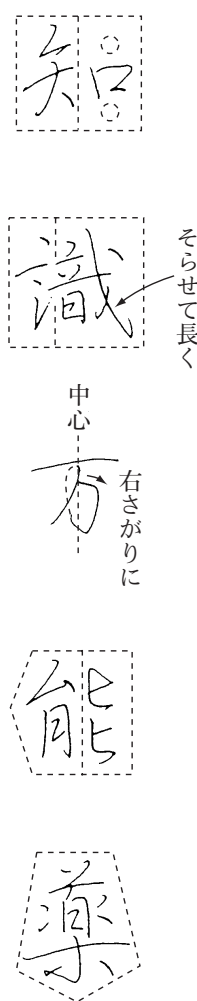


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

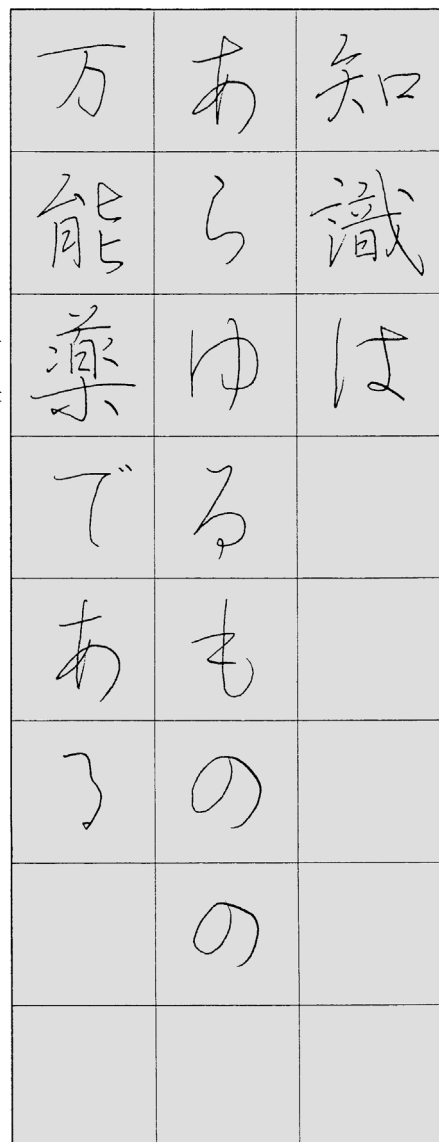
▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



そらせて長く

中心
右さがりに



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★知識は：（書体Ⅱ行書）

カリマコス（前四世紀末～前三世紀末）古代ギリシャの学者・詩人

知識があれば、どんなことにも対処できるということです。

当時最大の図書を持つアレクサンドリア図書館で、過去のギリシャ文学作品を分類整理するという大変な仕事をやり遂げたカリマコスにふさわしい言葉です。

◆3月課題予告（楷書）

だめの一言

七十の禍いを遠ざける

★人間は：（書体Ⅱ行草または草書）

フランシス・ベーコン（英「一六二〇

イギリスの哲学者

昨今では「自然を支配」という言葉は「自然の破壊」というマイナスイメージとなりますが、自然から法則を学び、生活を改善するという近代科学の方法論を述べています。

現代においては「自然とともに生きる」という姿勢が求められています。

◆3月課題予告（行書）

何を笑っている

名前を変えれば

君についての話だ

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

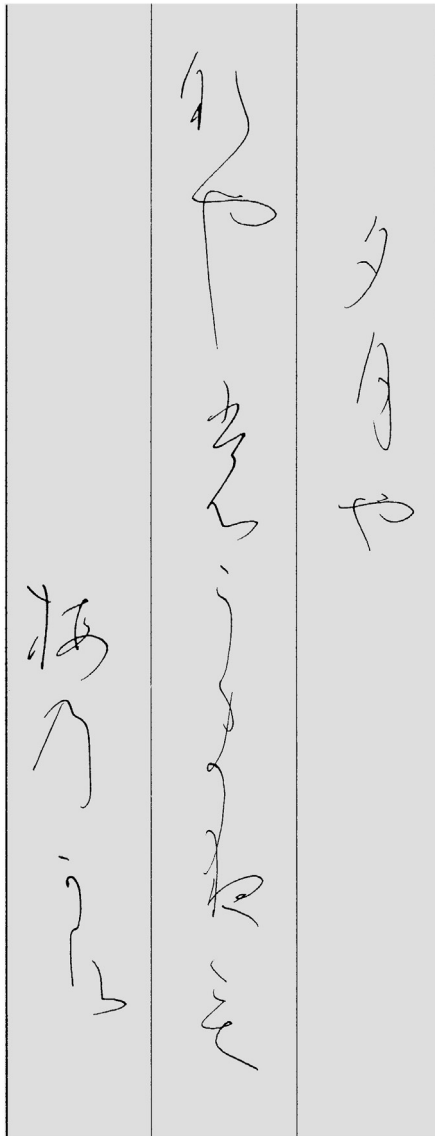
一般部かな課題

締切り 2月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

夕月や納屋も厩も梅の影

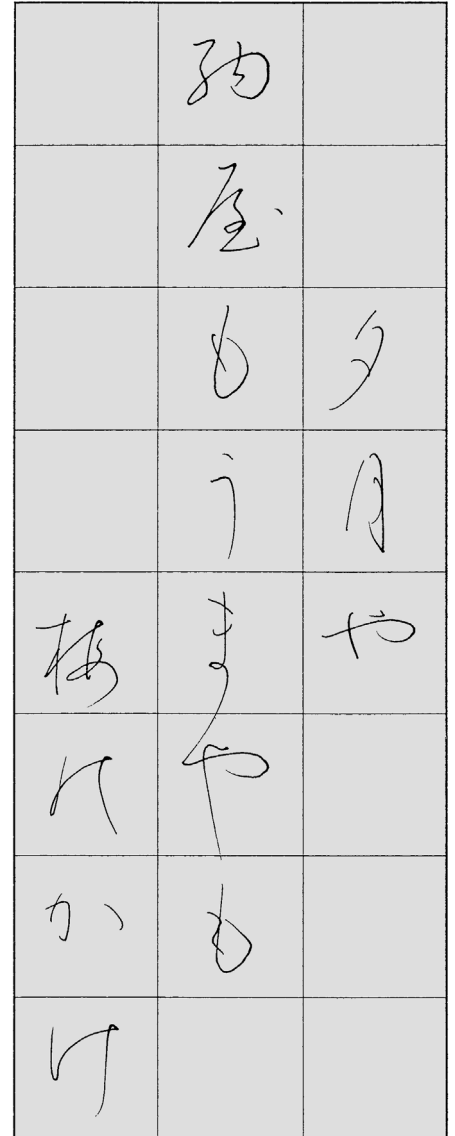


おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

夕月や納屋も厩も梅の影



おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆3月課題予告

外にも出よ触るるばかりに春の月

(中村汀女)

能の 毛も 夜や 裳も 那な
能 毛 夜 裳 那
能 毛 夜 裳 那
能 毛 夜 裳 那
能 毛 夜 裳 那

〔古筆参考〕

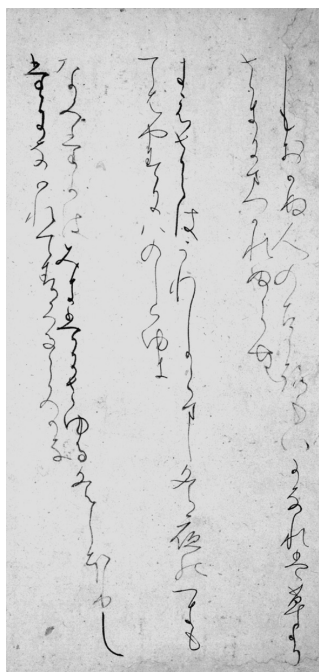
〔句意〕夕闇迫るころの空に夕月がかり、美しい梅の花枝が、納屋にも厩にも淡い影を落としていることである。

夕月や納屋も厩も梅の影

(内藤鳴雪)

〔古筆参考〕

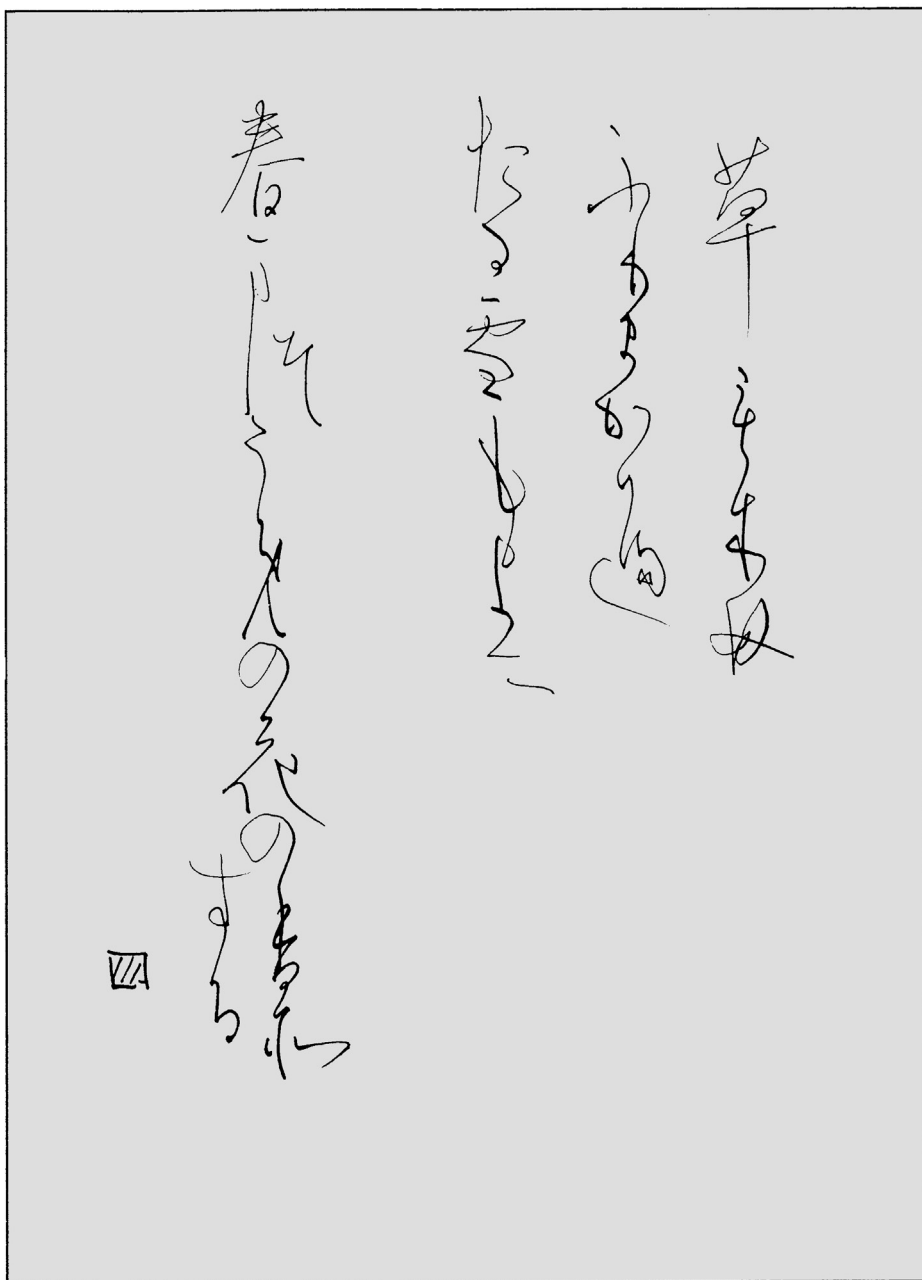
針 切



しもおかぬ人のころもいかなれば草より
 支 万 可 古 路 無 可 奈 盤
 さきにまづかれぬらむ
 支 万 可 奈 盤
 きえざらばうれしからまし冬夜のつきも
 支 万 可 奈 盤
 てはやすにはのしらゆき
 支 万 可 奈 盤
 なみだがはみぎはにさゆる冬ごほりし
 支 万 可 奈 盤
 たにながれてすぐるころかな
 支 万 可 奈 盤

締切り 二月二十二日（必着）

築瀬舟香書



四

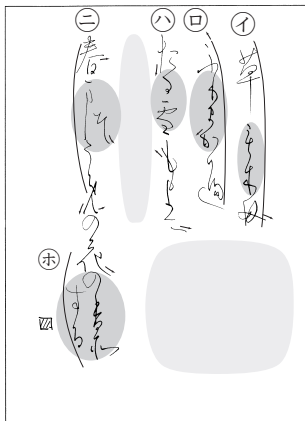
〔解説〕

〔歌意〕 草も木も見わけがつかないよう
 うに降る雪の中に、早くも春を待つ梅
 の花の薫りがするよ。

〔出典〕 新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

草も木も降りまがへたる雪もよに
 万 徒 免 所
 春待つ梅の花の香ぞする
 う えもんのかみちとも
 右衛門督通具



- ①と②、①と③、④と⑤、呼応。
- 行の中の密の部分（高まり）、一行の中の疎密に注意。
- 大きな間が大切。
- ・ の方向大切。（線が余白をおさえる）

針切の成立

針切という名は、その針のように細い書風の特徴から名づけられたらしく、江戸時代の「古筆名葉集」に「針切四半カナ文字細キユヘニ言」と記載されています。このように針切は細く強い線で書かれています。

（日本書学大系）より

◆ 3月課題予告

薄く濃き野べのみどりの若草に
 跡までみゆる雪のむらぎえ

（宮内卿）

締切り 2月22日(必着)

今年、花梨の実がたくさんありました。カリンの砂糖漬けは、セキの特効薬と知られていますが、疲労回復にも優れていて、毎日一切れずつ食べると一層効果的です。予防としてもぜひお試しあれ。

今年、花梨の実がたくさんありました。カリンの砂糖漬けは、セキの特効薬と知られていますが、疲労回復にも優れていて、毎日一切れずつ食べると一層効果的です。予防としてもぜひお試しあれ。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

オペラ作曲家プッチーニは、甘美で感傷的な作風で人気を博した。

長崎県壱岐市 氏 名

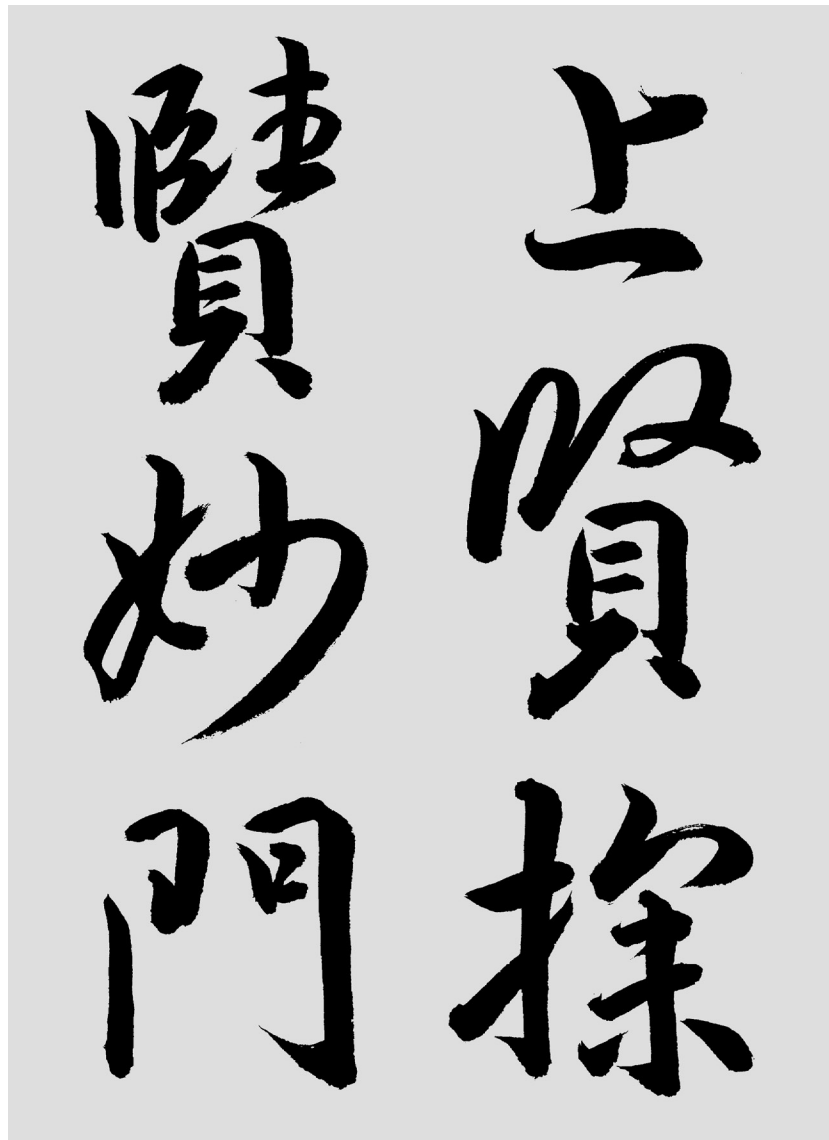
※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月22日（必着）



上
賢
探
蹟
妙
門

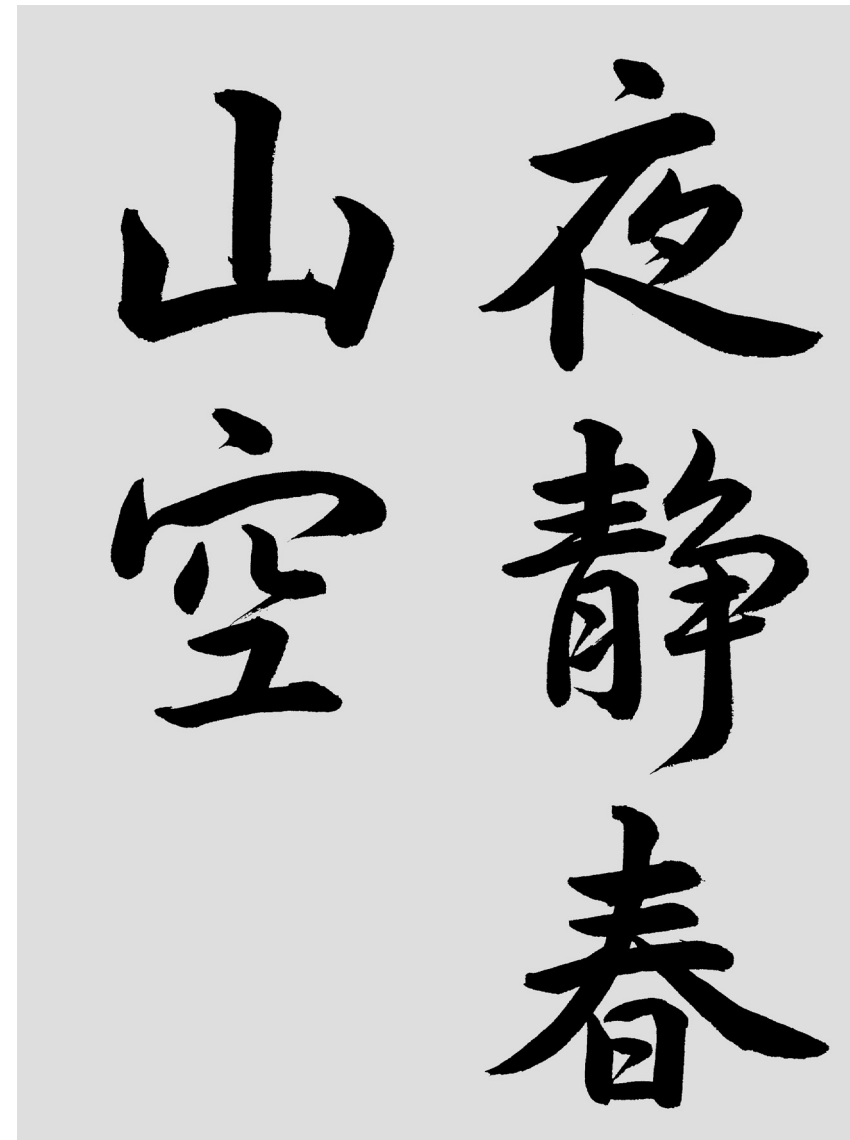


〔出典〕集字聖教序（672）〔筆者〕王羲之法書より集字

〔読み〕上賢に（受け、）妙門を探蹟し、

準初段から師範まで

奥村暢之臨



〔読み〕夜静かにして春山空し

〔大意〕夜は静かにふけ、春の山には人の気配もない。

新入から1級まで（行書）

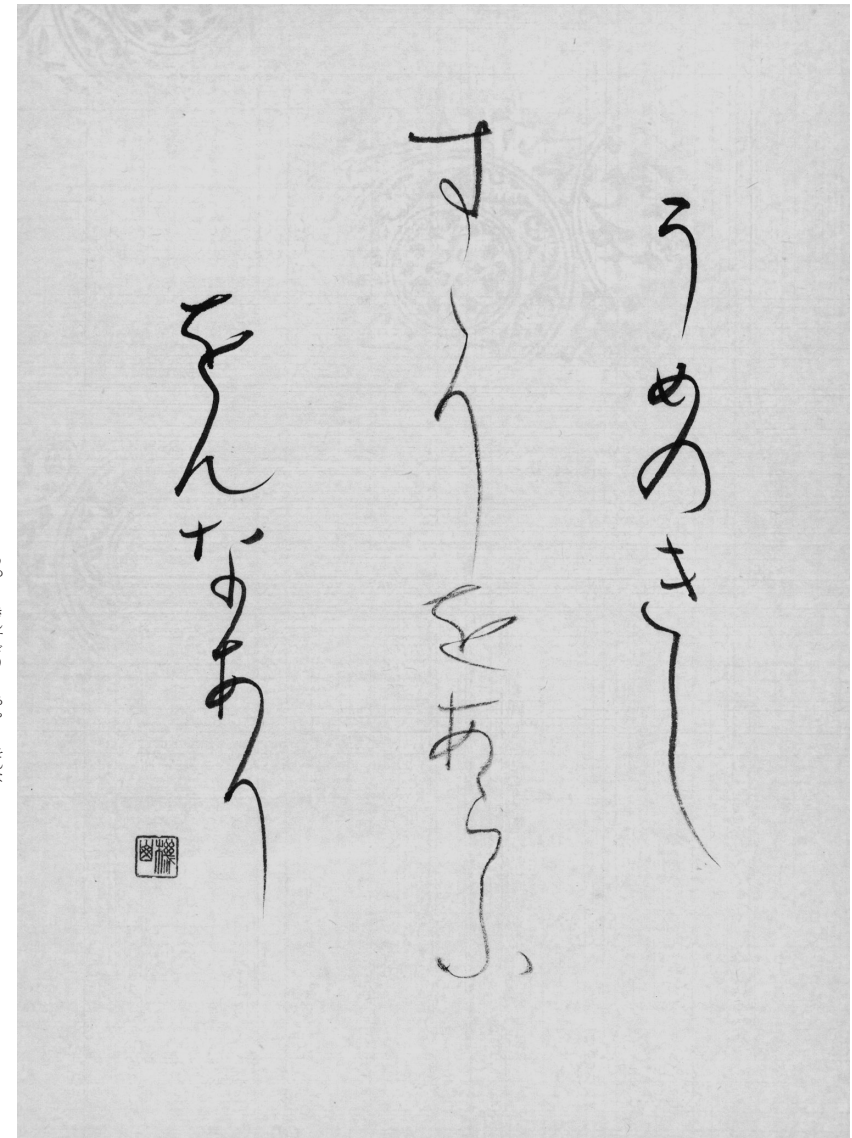
澤静雨書

一般部毛筆かな課題

締切り 2月22日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

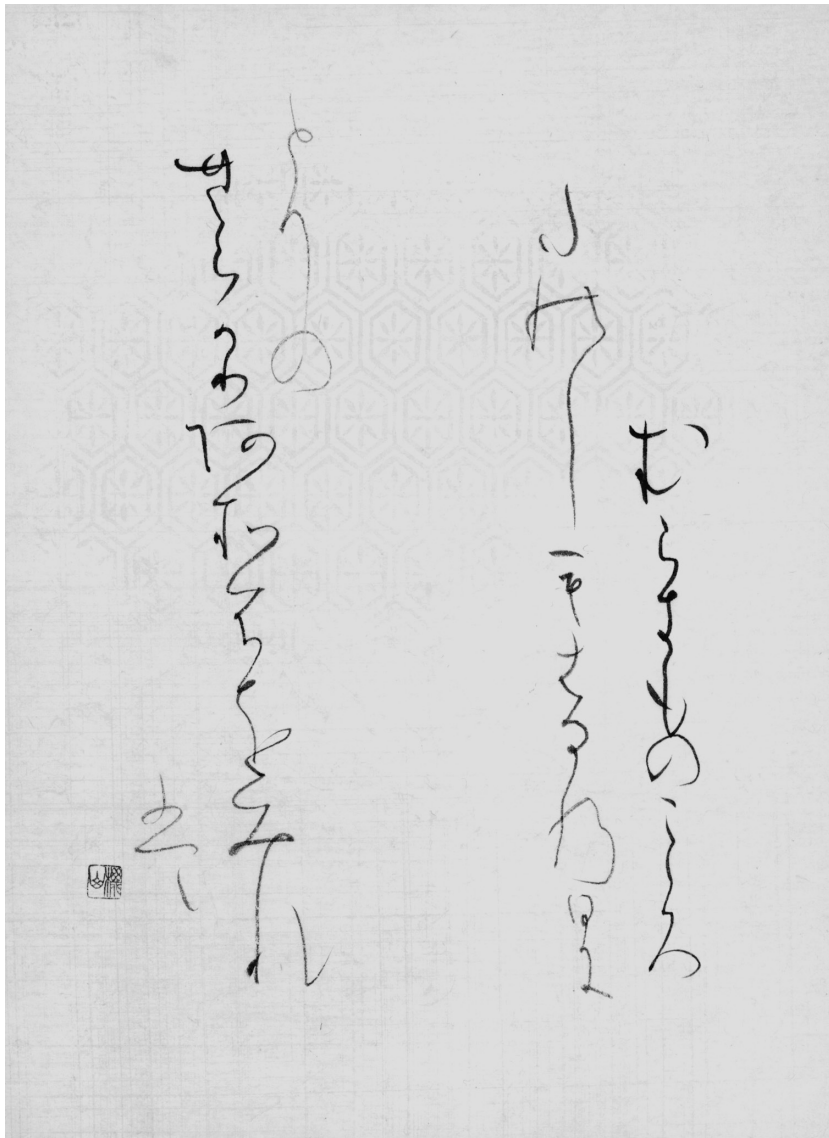


〔出典〕内藤鳴雪

〔句意〕梅の咲く岸辺で硯を洗う女の姿。花の匂い、水の匂い、墨の匂いと重なって清らかな品位をこの女性に与えている。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

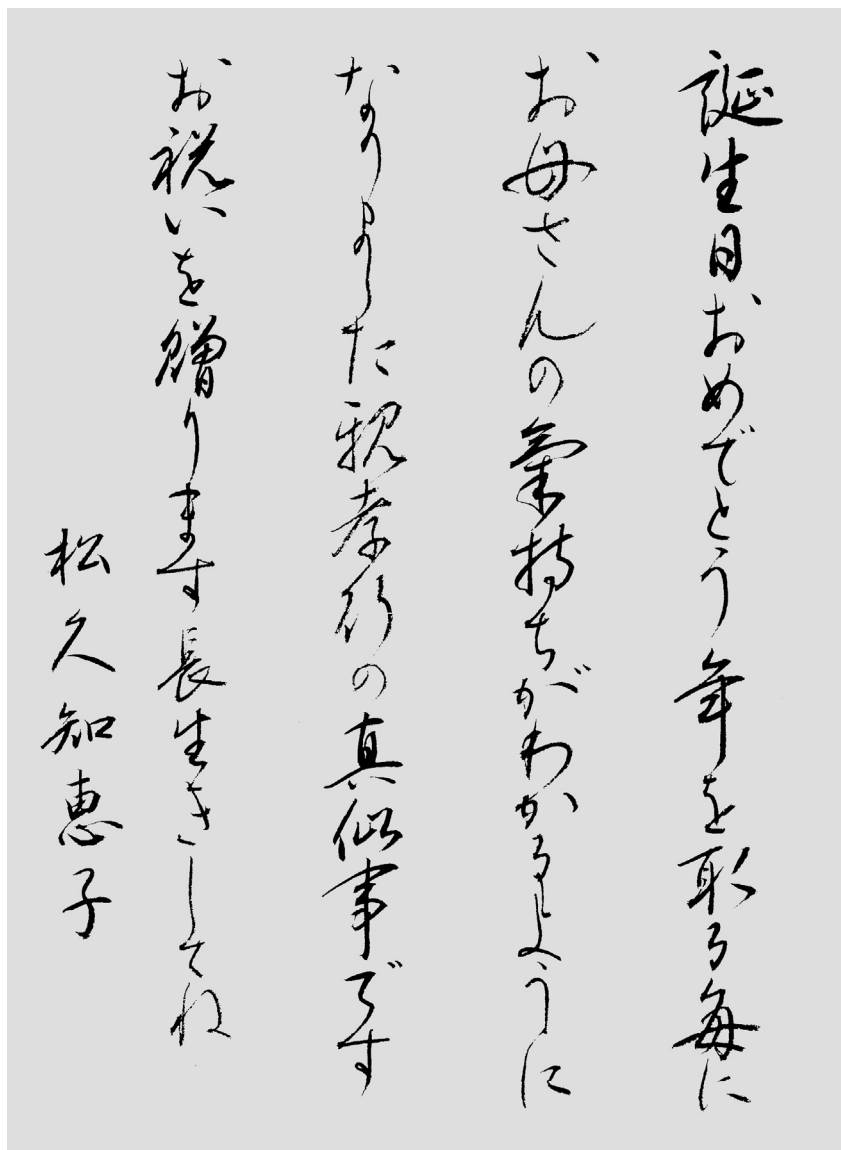


〔出典〕良寛

〔歌意〕心が楽しいことだ。のどかな春の日に小鳥がたくさん集まって遊んでいるのを見て。

文
むらぎもの心
無可利阿所不
鳥のむらがり遊ぶを見れば
毛書る乃尔
盤

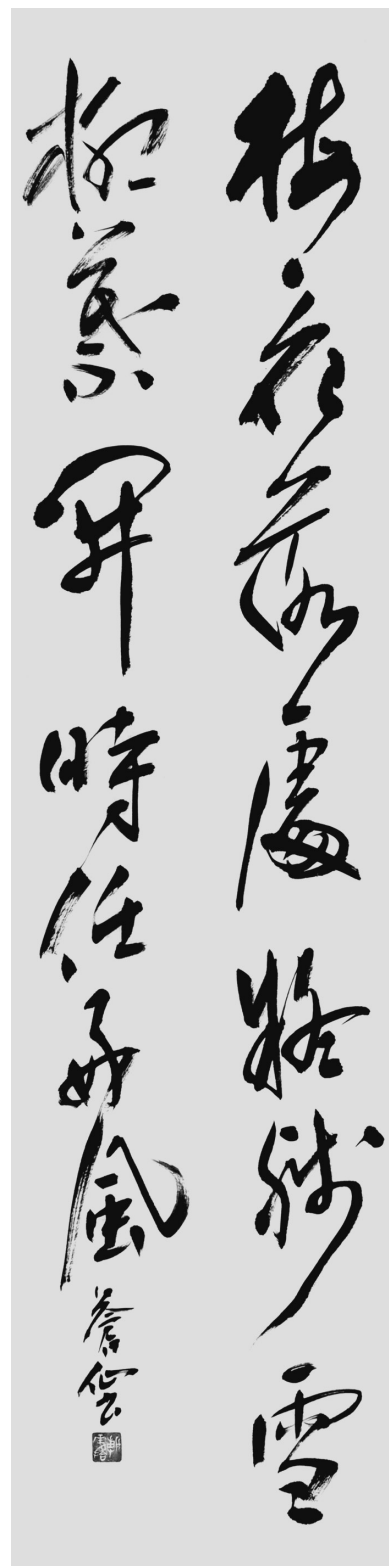
一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋

一般部毛筆条幅課題



締切り 二月二十二日 (必着)

半切 (一三六cm × 三五cm)

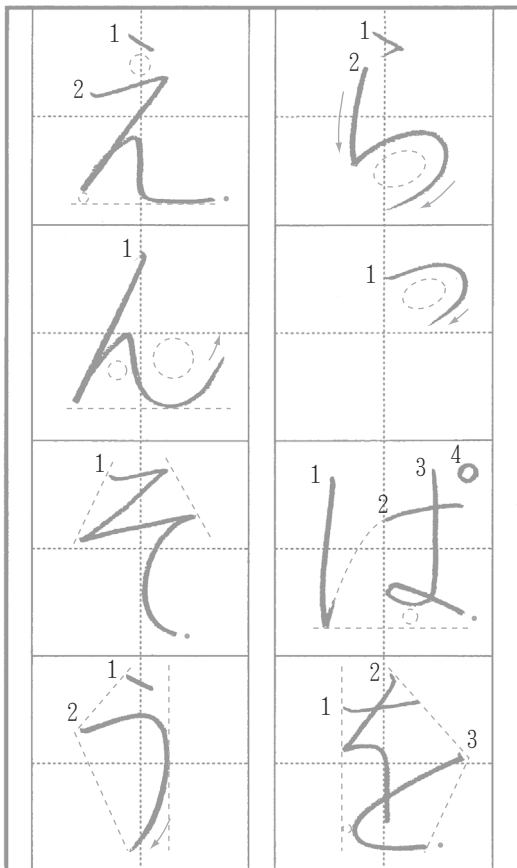
荻 田 蒼 仙 書

- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月変わります。
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
・印で墨つぎしました。
(ご自分の氏名)
お祝いを贈ります 長生きしてね

〔条幅解説〕起筆には多様な方法があります。それによって生まれる線も多様で、作品の価値も多様です。お互いにその辺りを、実技を見る事によって勉強し、実力をつけましょう。

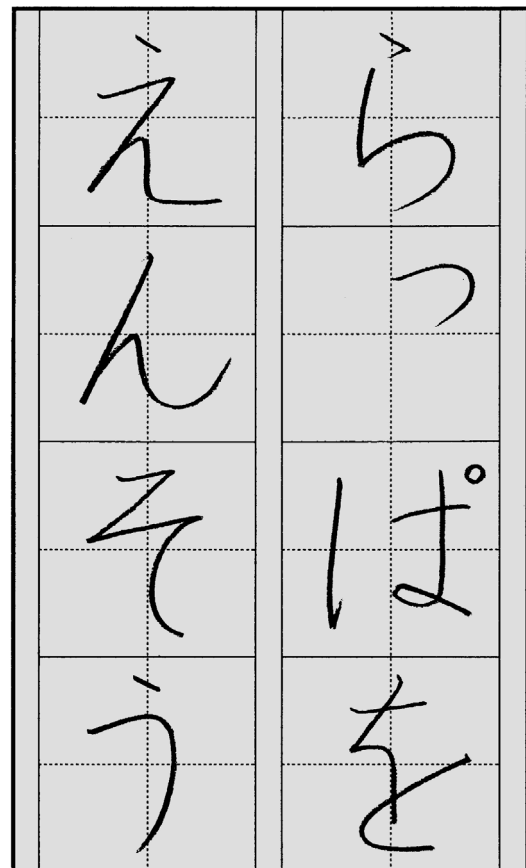
梅 花 落 處 疑 残 雪
柳 葉 開 時 任 好 風
杜 審 言
〔大意〕梅の花が散った所は残雪がのこるかも疑われ、柳の葉は好風にまかせて美しく伸びる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



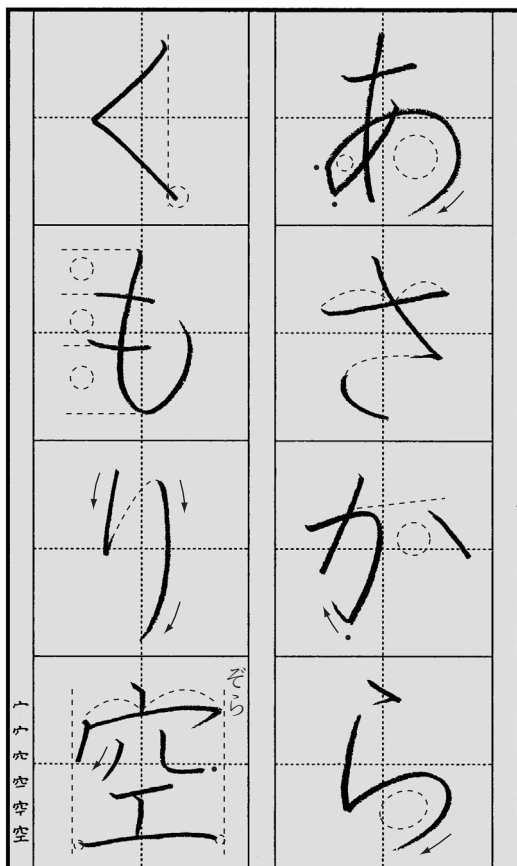
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

小三年まで 三宅容玉書



新入1級

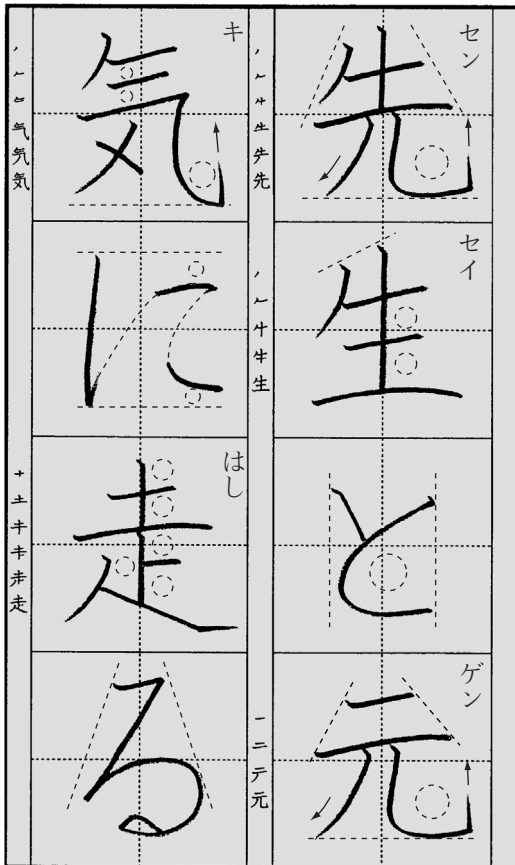
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

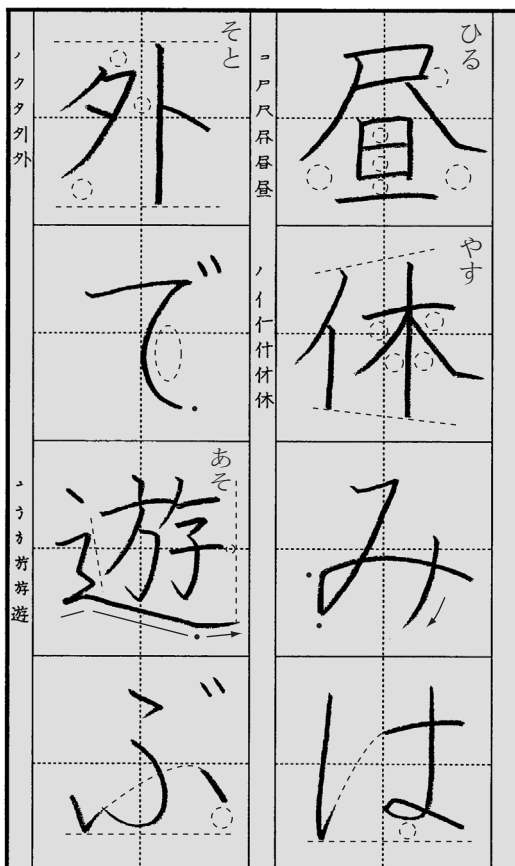


新入1級



小二年

準初段以上



新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小三年

準初段以上

小四年

つ	所	色
い	の	ん
て	種	な
学	類	発
ぶ	に	電

準初段以上

新入1級

種	発
類	電
学	所
ぶ	の

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

料	が	父
理	営	の
の	む	兄
お	日	夫
店	本	婦

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

営	父
料	兄
理	夫
店	婦

小四以上 須田一葉書

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

肉	人
眼	衛
観	星
測	次女

解説(よく見て習いましょう)

観	姿	人
測	を	工
す	肉	衛
る	眼	星
よ	で	の

小六年

(全員)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

な	舞	外
景	い	は
色	幻	粉
で	想	雪
す	的	が

中二・三年 (行書)

宙	に	厳
飛	耐	し
行	え	い
士	て	訓
に	宇	練

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 伊 藤 由 光 書

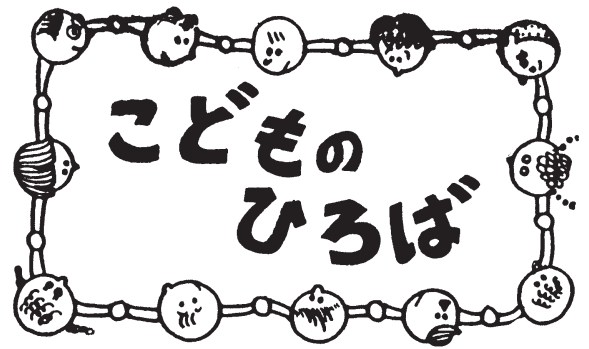
ナ	赤 ^{あか}	長 ^{なが}	う	雪 ^{ゆき}
ン	い	い	さ	で
テ	目 ^め	耳 ^{みみ}	ぎ	つ
ン	は	は	さん	く
の		さ		っ
実 ^み		さ		た
		で		

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はつけペン使用



しめきり 2月22日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 お ぎ そ か せい
小 木 曾 花 清 書

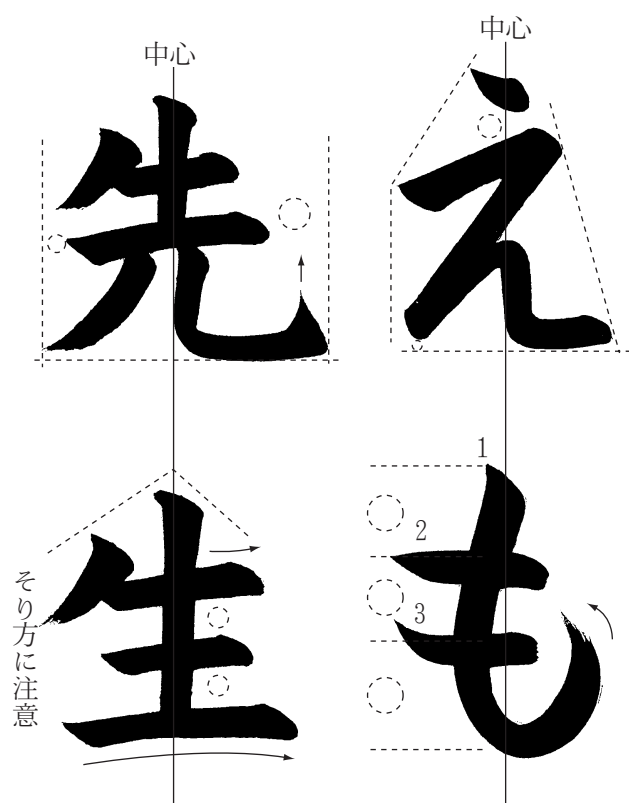
買 ^か	念 ^{ねん}	お	コ	弟 ^{おとうと}
い	願 ^{がん}	と	ツ	と
ま	の	し	コ	二 ^{ふた}
す	望 ^{ぼう}	玉 ^{だま}	ツ	人 ^り
	遠 ^{えん}	で	貯 ^た	
	鏡 ^{きよう}		め	
	を		た	



※貯めるは「常用漢字表」外の訓読みです。



幼年／小二年
玉樹小
華書



料日
理本

小五

み昼
休

小三

電
料
理

昼
休
発

中心

所発
電

小四

小三
小五年

水野の香竹書

小六／中二・三年
奥村暢之書

